

山崎ひろし

声と力!!
行動力!!

県政レポート

発行：山崎ひろし事務所 〒510-8037 三重県四日市市垂坂町883-5
TEL・FAX 059-333-3206

現在の役職

●環境生活農林水産常任委員会 副委員長

皆様のお陰を持ちまして三重県政に取り組み働かせて頂ける事を感謝申し上げます。
コロナ禍の感染症・オミクロン対策等、国・県・市・町と調整し皆さんの声を力に行動して参ります！

三重県議会にて一般質問いたしました《令和4年12月1日》

右のQRコードから
令和4年定例会
(令和4年12月1日)
動画をご覧いただけます。

中小企業・小規模企業への支援について

Q [質問]

新型コロナウイルス感染症に対する緊急支援資金の融資の返済期限が令和5年5月以降に迫る中小企業・小規模企業が多くあります。中小企業・小規模企業に対しての資金繰り支援の取組について教えてください。

A [答弁]

県は、累次にわたる資金繰り支援策を講じるとともに、三重県信用保証協会に経営改善コーディネーターを配置し、伴走型の経営改善支援にも取り組んでいます。

今後、令和5年5月以降、ゼロゼロ融資の無利子期間が終了することから、返済負担の軽減などを目的として、伴走支援型特別保証を活用した「セーフティネット資金・リフレッシュ資金」の保証料を無料化しました。

国の経済対策では、新たな保証制度の創設が盛り込まれており、県では、国の対策に沿った形で制度を見直し、関係機関と緊密に連携しながら、中小企業・小規模企業の事業継続を下支えしていきたいと考えています。

Q [質問]

スタートアップなど挑戦される創業者や新たな取組に果敢にチャレンジしていこうとする中小企業・小規模事業者に対しての資金調達も含めてサポート支援の体制について教えてください。

A [答弁]

地域の持続的発展のためには、既存の中小企業・小規模企業の成長を促すとともに、創業に向けた前向きなチャレンジの取組を支援し、新たな活力を生み出していく必要があることから、創業に向けた新たな挑戦に対して、創業セミナーの開催や創業に向けた相談対応、マッチング支援、専門家によるハンズオン支援に取り組んできたところです。

また、創業にあたっては、資金の調達が必要となることから、地域の金融機関や三重県信用保証協会と連携し、円滑な資金調達につながるよう支援しています。今後も引き続き、関係機関と連携しながら、創業に向けた取組を支援していきます。

外国人労働者への支援について

Q [質問]

日本の労働人口減少や高齢により今後、外国人労働者が重要な役割を果たすと考えております。三重県として外国人労働者の雇用に対しての取組を教えてください。

A [答弁]

三重労働局が把握している県内の外国人労働者数は、令和3年10月次点で30,391人と過去最高を更新している中、雇用主との間に労働条件等に関する認識の相違が生じやすいことが課題となっています。

県では、外国人の受入環境の整備促進を図るため、企業を対象に採用・職場定着や業務に必要なコミュニケーションに関するセミナーの開催や専門家による個別企業相談会を実施し、外国人労働者の雇用に関する課題解決につなげています。

外国人労働者向けには、津高等技術学校において日本語能力に配慮した職業訓練を実施しているほか、仕事に必要な日本語やスキル等を学ぶ訓練コースを開設しています。

Q [質問]

今後期待される外国人労働者が生活していくための問題として、外国人児童への支援、教育機関である外国人学校への支援についてのお考えを教えてください。

A [答弁]

【外国人児童生徒への支援にかかる答弁】

県内の公立学校には、日本語指導が必要な児童生徒が2,632人在籍し、言語数は33言語に上り、在住地域の広域化も進んでいます。

このため、外国人児童生徒が多く在籍する市町への教員の加配や財政支援に加え、母国語に対応した巡回相談員の派遣、オンラインでの日本語指導の取組などを進めています。高校では、外国人生徒の学習支援や進路指導、日本語指導を行う指導員の配慮や、日本語学習のための選択科目の開設などを行っています。

また、外国人高校生に向けた、日本の雇用制度や進学情報のセミナーの開催、専門人材による進路相談、就職支援なども行っています。

今後も児童生徒が安心して学びを継続し、将来、地域社会の一員として活躍できるよう支援していきます。

【外国人学校への支援にかかる答弁】

外国人学校は、在住外国人の児童生徒の教育において大変重要な役割を果たしており、外国人学校における教育に係る経常的経費に対して県独自の助成を行っています。また、コロナ禍における原油価格・物価高騰に対して、三重県私立学校物価高騰対策支援補助金による支援を行うこととしています。

在住外国人の児童生徒の教育機会を確保し、学校の経営基盤の安定化を図られるよう、引き続き、国に対して補助制度の創設を要望するなど必要な支援に努めてまいります。

学校での部活動について

Q [質問]

学校部活動の地域移行が進められようとしていますが、どのように進めていくのか、三重県としてのお考えを教えてください。

A [答弁]

中学校の部活動の地域移行については、国の動向や県の取組、各市町の取組や課題を市町と共有しながら進めてきました。また、モデル校として3市町4中学校での実践研究も継続しています。

受け皿とおなる団体の確保については、総合型地域スポーツクラブやスポーツ協会・競技団体・スポーツ少年団等にも協力を依頼しています。指導者の確保については、日本スポーツ協会公認の資格者リストに加え、各競技団体の有資格者にも協力いただき、指導者リストを市町に提供します。

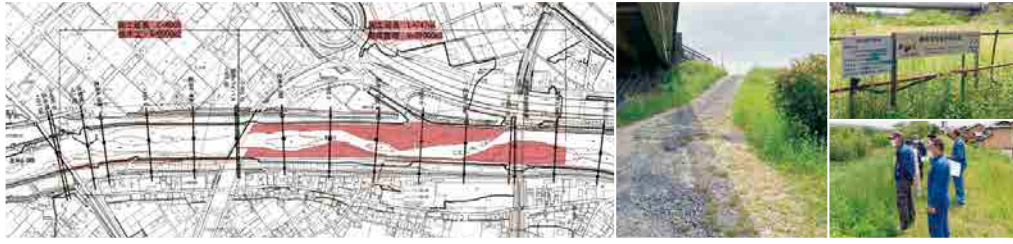
また、部活動に関する国のガイドラインの改訂に併せて、「三重県部活動ガイドライン」も改訂し、周知を図ります。部活動の地域移行に取り組む市町に対して、引き続き支援を行ってまいります。

朝明川 整備予算が実現しました

広永橋下流の朝明川には竹と樹木が繁茂しているため、火災や洪水対策を目的として、大矢知地区まちづくり構想推進委員会・朝明川自然学習公園化プロジェクトと自治会の方々と共に、現地で三重県に速やかな対応をお願いした所、県側から河床整理及び伐採工事を約6千万円にて11月から着工するという回答を得ました。

この工事において、堤防沿いの伐採・除草作業も行われ、河川内への進入が容易になることから、自然学習などの地域活動の場所としての朝明川の利用に大きく前進します!

また、県には昨年度、防災目的での朝明川改修工事に約4千万円の予算上積みをして頂き、引き続き朝明川の治水対策促進を後押しして参ります。



大矢知地区垂坂 県道8号線土木工事により整備が実現しました

本線の歩道は通学路として利用されていますが、アスファルト舗装の断面が沈下していたため、車両が通行するごとに歩道に水しぶきが上がり、近隣の住民の皆様より子ども達の通学路での事故が危惧されておりました。その対策として、自治会や関係団体様とも協議して、排水溝の設置及びアスファルトのオーバーレイ工法の工事を行うことが実現できました。

これにより、本線が安全で快適な通学路として機能することを祈念いたします。



浜田地区 《浜田地区自主防通信》に活動を取り上げていただきました

浜田地区自主防災組織連絡協議会様が発行する浜田地区自主防通信(2022年2月発行)に山崎の活動を取り上げていただきました。山崎自身も昭和49年の鹿化川のはん濫を幼少期に体験しており、自身の被災体験から二度とこんなことを繰り返してはならないと政治家に立候補いたしました。

今後も鹿化川・天白川の河川防災対策を引き続き見守りつつ、四日市市の地域整備促進に力を尽くして参りたいと存じます。今後ともご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

浜田地区自主防通信 被災者 **ゼロ** のまちづくり 2022年2月20日第10号
発行 浜田地区自主防災組織連絡協議会 防災委員会

【報告】鹿化川の整備が始まります

浜田地区の南を流れる鹿化川は、三重県が管理する二級河川です。昭和49年の集中豪雨で氾濫した後、一部で改修工事がなされましたが、過去10年間に、「はん濫危険水位」を超えること11回、「避難判断水位」を超えること10回と、災害の危険性が増えています。

浜田地区連合自治会では、三重県四日市建設事務所に早期の改修を要望してきましたが、近鉄とJRの鉄橋付近で川幅を広げる工事が立派ですが、なかなか改修に至りませんでした。この度、四日市建設事務所から、暫定的に、川底を1m程度掘り下げ、鉄道の交差部分でも鉄橋に影響をしない範囲で川幅を確保する治水工事を実施すると説明がありました。

まずは、この2月から、近鉄線から旧東海道付近までの川の中に生えた木や雑草などを取り除く工事が雨の多くなるころまでに終了するよう行われる予定です。その後、今年の秋ごろから川底の掘り下げなどの工事が始まります。工事終了まで7~8年かかる見込みですが、これにより30年に一度の時間雨量83mmに対応できるそうです。(49豪雨は78.5mm/時間) 十分といえないまでも、災害の危険性が緩和されると期待できます。

なお、今回の整備促進に当たっては、山崎博稔議員(防災土整備企業常任委員会委員長)にお世話になりました。あわせてご報告します。



①東日本大震災女川町視察
2022年4月20日(水)



②オリンピック委員長橋本聖子
参議院議員と四日市市表敬訪問
2022年6月24日(金)



③佐世保視察・ハウステンボス
視察
2022年7月13日(水)



④五島列島海洋再生
エネルギー視察
2022年7月14日(木)



⑤モルドバ共和国災害支援協力
2022年7月19日(火)



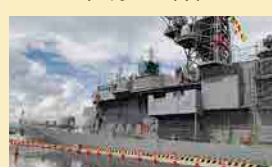
⑥リニア建設促進会議
2022年7月29日(金)



⑦坂部トンネル設置工事
現場視察
2022年8月25日(木)



⑧環境生活農林水産常任委員会
県内視察
2022年9月1日(木)



⑨護衛戦あまざり視察
2022年9月3日(土)



⑩みえ県議会出前講座
(いなべ市立治田小学校)
2022年9月6日(火)



⑪新潟県拉致被害者における
現地視察
2022年9月12日(月)



⑫ハツ場ダム視察
2022年9月13日(火)



⑬富岡製糸場視察
2022年9月13日(火)



⑭モビリティバス走行視察
2022年9月20日(火)

お知らせ

令和4年度 7,380万円の鹿化川治水対策工事への予算化が実現しました。今後8年に亘り継続施工していきます。

三重 県議会 での 経歴

2019

三重県議会議員1期

- 常任委員会：・防災県土整備企業
常任委員会 委員
・予算決算常任委員会 委員
- 四日市港管理組合議会議員
- 広聴広報会議 委員

2020

- 常任委員会：・医療保健子ども福祉病院
常任委員会 委員
・予算決算常任委員会 委員
- 特別委員会：差別解消を目指す条例検討調査
特別委員会 副委員長
- 四日市港管理組合議会議員

2021

- 常任委員会：・防災県土整備企業
常任委員会 委員長
・予算決算常任委員会 委員
- 特別委員会：差別解消を目指す条例検討調査
特別委員会 副委員長
- 広聴広報会議 委員
- 委員長会議 常任委員長

2022

- 常任委員会：・環境生活農林水産
常任委員会 副委員長
・予算決算常任委員会 委員
- 四日市港管理組合議会議員
- 広聴広報会議 委員



防災みえ.jp (<https://bosaimie.secure.force.com/>) にて災害状況がご覧になれます。

発行/山崎ひろし事務所 TEL・FAX 059-333-3206 mail h-yamazaki@yamafen.jp

お気軽にメール・FAXお待ちしております!

お知らせ

山崎博! 県政報告会は、ホームページ・案内チラシにて連絡報告させていただきます。

山崎ひろし 公式ホームページ
<https://yamazakihiroshi.jp>

